TRY

第5号
2019年6月12日
大正中生徒会執行部発行

みなさん、毎日の学校生活はどうですか？新しい学年が始まり約2ヵ月が経ちました。梅雨に入ったこともあり蒸し暑くなり、少し毎日の生活に慣れてきたこともあってダラダラしていないでしょうか？

先日、生徒会で集まった時に毎日の各クラスでの様子や授業での様子を出し合いました。そこでは、どのクラスもしっかり手を挙げて、しっかり班で話し合って授業を大切にしていると聴くことができました。このまま気を抜くことなく、ダラダラすることなく、毎日の学校生活を、授業を、大切にしていきましょう。

今、大正中学校の授業はどんどん変わっていっています。校長先生をはじめ、色んな先生が授業を見に来たり、どの先生も全員が手を挙げる質問を毎授業取り入れたり、「今日この授業では、こんなことをするよ」と目標を毎授業確認したり。

授業は、私たちのためにあり私たちこそが授業の主役です。だからこそ大正中学校の生徒1人1人が主役になる授業をつくるため、『授業のルール』を生徒会で考えました。

授業のルール

- チャイム着席
- Raising Hand Program（レイジング ハンド プログラム）
- 分からないことは分からないと言う

まず1つ目は「チャイム着席」です。時間を大切にすることが、授業を大切にする第1歩となります。

次に「Raising Hand Program（全員挙手）」です。分かる人も分からない人もきちんと手を挙げることで、全員が参加できる授業を全員でつくることができます。

そして3つ目が「分からないことは分からないと言う」です。「どうせ分からんし」とか「もうええし」とか言って授業から逃げていたらずっと分からないままで、おもしろくもないし楽しくもないと思います。授業を自分のものにするためにもきちんと「分からない」を言いましょう。

大中生全員で授業をつくっていきましょう！